

西日本インカレ男子結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

6/21～24 に大阪府及び兵庫県において、西日本インカレ男子大会が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

予選 1 回戦 vs びわこ成蹊スポーツ大学

●0-2 (17-25、16-25)

予選 2 回戦 vs 高知工科大学

●1-2 (25-20、21-25、17-25)

(最終結果)

優 勝 愛知学院大学

準優勝 近畿大学

第 3 位 岐阜協立大学

第 3 位 天理大学

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hiro daiVOLLEY>

男子コーチの熊谷です。

本大会は 3 年生が幹部となる新体制で臨む初めての試合となりました。予選の 2 試合ともに、序盤は保坂、水谷、出口の 3 人のレシーブからリズムを作り、高橋、佐々木のクイックと村上のライト平行を中心とした攻撃で相手のブロックを翻弄することができ、関西の強豪相手にも一進一退の攻防を繰り返すことができていました。しかし、エースとしてチームを引っ張っていた稲葉の不在によるレフト攻撃力低下の影響が徐々に表れ始め、試合序盤に効果的に決まっていたクイックとライトに相手ブロックが寄ってきたことで、広大の攻撃がことごとくブロックに捕まってしまいました。レシーブをどれだけ上げても自分たちで点を取ることができず、いずれ相手に点を決められるか自分たちのミスで失点すると

いう流れができてしまい、一度リードを許してしまうと自分たちで状況を打開することができない苦しい試合となってしまいました。結果的に 2 試合とも大きな点差をつけられて負けることとなりました。

この 2 試合の中で、3 年生の高橋と村上が幹部としての覚悟を持って、プレーでも雰囲気でもチームを引っ張っていたことが印象に残りました。特に村上は苦しい場面でもライトやバックからコンスタントに点を取り続け、中四国大会からまた一つレベルを上げたように見えました。チームを引っ張る選手として今後もさらに上を目指し続けてほしいです。

本大会を通して、広大の弱さが顕著に見えたと思います。このままでは 4 年生が引退した来年以降のチーム状況はかなり厳しいものになると容易に想像できます。そのため、選手全員が成長するしかありません。しかし、成長の方向を間違えてしまっては意味がありません。そのため、それぞれの選手が本大会で感じたことを自分の中だけで収めるのではなく他の選手（先輩・同期・後輩）と共有して、正しい成長の方向を見極めなければなりません。これはスタメンの選手だけでなく控えの選手も同じです。チーム全体での変化が必要だと思います。

関西で開催された大会でしたが、たくさんの方々に遠方から足を運んでいただきました。劣勢の場面でも温かいご声援をいただき、チームを鼓舞していただきました。誠にありがとうございました。

次の公式戦は、天皇杯・皇后杯広島県予選が 7/1 から広島県猫田記念体育館で開催されます。

引き続きよろしく願いたします。